

目標達成計画

作成日: 平成28年11月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議参加者の多忙による欠席 入居者の高齢化、体調不良、認知症の進行による欠席 認知症という病気への理解不足による対応のずれ 行政担当者の業務多忙による欠席 | <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議会員の毎回の全員の出席 入居者が毎回参加出来る 運営推進会議出席で認知症の理解される 行政担当者の前年以上の出席 | <ul style="list-style-type: none"> 年6回の会議開催の計画を行う。議題も全員の方々に聞き取りなどして、地域として興味のある会議にしていく。 会議に中での認知症への理解へ講習を開く、その中に入居者も参加する。 行政への議事録をもっと詳細にして、次回の質問等の回答をして頂くように、出席を促す。 | 24ヶ月 |
| 2 | 33 | <ul style="list-style-type: none"> 自治消防団の多忙による協力が難しい 近隣住民の多忙による、訓練への不参加 避難場所が広い意味での避難場所となっていて、災害の種類に合わせた場所となっていない | <ul style="list-style-type: none"> 自治消防団と年2回は協力が得られ、訓練が行えている 避難訓練等を行う際、隣近所の住民に参加して頂き、実際に避難訓練や消火訓練等に参加してもらう。 避難場所が災害の種類に合わせた場所になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間計画を立て、事前に日程を擦り合わせて協力が出来る様にしていく 運営推進会議等を通じて、住民の協力が得られるように、計画の擦り合わせを行う 様々な災害に対応出来る様に近隣施設や地域住民と情報共有して行っていく | 24ヶ月 |
| 3 | 13 | <ul style="list-style-type: none"> 職員が会社理念を意識して業務に取り組めていない | <ul style="list-style-type: none"> 職員が意識しやすい理念にかえ、意識を高く持てる理念にする | <ul style="list-style-type: none"> 業務を行う上で、会社理念を意識し易いように、各棟で会社理念を含めた、業務理念を立てサービス提供にあたる | 24ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。